

す。その点につき、まず、下子、下会、合がある場合に、は、い、民、館と福祉会館を一緒の方が理想的であると、又、二個非常の集てもあった場合には、下子、下建物、が、は、は、は、あつた、ほう、が、避難する、場合、い、い、の、で、は、は、い、か、と、い、ろ、ろ、考、え、か、あ、る、め、け、で、ご、い、す、す。や、二、で、販、手、前、の、課、長、に、も、合、い、す、と、ど、り、か、い、い、か、と意見、を、聞、い、た、け、で、す、が、は、は、は、や、ほ、り、福、祉、会、館、は、別、に、建、る、の、が、妥、当、で、と、い、う、請、が、あ、つ、た、け、で、ご、い、す、と、一、々、答、弁、に、は、は、は、い、か、も、知、れ、ず、せ、ん、け、れ、ど、も、あ、れ、を、防、音、で、い、民、館、に、改、造、し、て、い、く、か、あ、る、い、は、あ、と、何、年、か、折、慢、し、て、福、祉、会、館、の、お、先、に、ど、こ、か、に、建、る、か、ど、り、り、か、は、る、べ、く、早、く、さ、り、下、に、と、考、え、て、お、り、子、の、お、ご、ご、承、け、す、と、い、た、下、子、下、に、と、思、い、ま、す。実、は、い、ら、其、の、集、会、場、を、建、る、場、合、防、火、下、の、補、助、と、い、う、も、の、は、現、在、は、好、象、に、な、す、お、り、す、せ、ん、の、で、子、ほ、ど、運、動、を、し、て、も、ご、い、は、も、の、で、お、々、の、学、校、の、防、音、工、事、を、も、終、つ、た、は、は、は、今、度、は、そ、う、し、た、合、館、の、お、に、も、補、助、が、お、け、い、に、す、め、て、く、ろ、の、で、は、は、は、考、え、り、ま、す、と、い、う、は、は、は、も、考、え、り、め、る、め、け、で、ご、い、す、す。

いろいろ理由がございすので、真剣にとり組み、まず、ど、り、に、し、ろ、福、祉、会、館、あ、る、い、は、い、民、館、か、ど、り、り、の、早、期、に、実、現、す、る、す、う、努、力、に、い、と、思、い、す、す。

第四点、中、共、取、東、に、つ、き、す、と、は、鉄、道、省、と、私、有、地、と、の、入、り、く、み、が、非、常、に、む、ず、か、い、問、題、が、あ、り、す、と、一、今、下、に、下、に、解、決、す、る、段、階、に、至、す、お、り、す、せ、ん。今、つ、の、問、題、が、西、部、鉄、道、を、は、ん、と、か、引、つ、ば、す、に、は、け、れ、ば、は、は、は、い、の、で、は、は、は、考、え、り、ま、す、と、い、お、り、す、す。東、に、つ、き、す、と、は、地、主、と、鉄、道、省、と、の、接、衝、を、は、る、べ、く、早、く、側、面、か、り、努、力、に、い、と、思、い、す、と、一、下、に、下、に、こ、れ、を、解、決、す、る、こ、と、は、困、難、で、と、思、い、す、す。西、は、の、鋪、装、に、つ、き、す、と、一、

は、全、子、の、管、理、部、と、相、談、し、た、と、一、鉄、道、の、こ、に、は、る、べ、く、子、け、い、に、出、て、い、た、下、に、す、う、に、と、は、る、べ、く、早、く、鋪、装、し、た、い、と、思、い、す、す、が、鉄、道、が、一、体、と、の、位、出、す、か、に、か、か、つ、お、り、す、す。

公、衆、便、所、の、件、で、ご、い、す、す、が、衆、議、院、が、は、い、め、け、で、ご、い、す、す。民、生、と、い、う、以、外、に、は、一、つ、も、公、衆、便、所、が、は、い、め、け、で、ご、い、す、す。民、生、と、い、う、つ、ま、は、失、れ、ま、す、が、一、般、の、道、徳、観、念、の、低、下、か、ら、公、衆、便、所、と、い、う、



ものは非常に巧みなりて、下ぐに候へば、よくは、そし、まう、という、う、は、現状、で、ござい、ます、す、ま、下、変、い、ま、便、所、と、いう、もの、は、あ、ぶ、か、い、もの、で、ござい、ます、す、私、も、中、支、隊、の、公、衆、便、所、に、つ、き、ま、う、て、三、回、は、かり、福、生、駐、長、に、会、い、ま、う、て、は、ん、と、か、は、り、は、い、か、と、言、う、に、わ、け、が、ござい、ます、す、が、昨、年、の、こ、と、で、す、が、橋、梁、駐、長、は、一、般、に、駐、長、便、所、は、造、り、は、い、と、い、う、の、が、鉄、道、の、条、則、で、あ、る、と、い、う、こ、と、で、^{青、梅、市}青、梅、市、に、も、参、り、ま、う、た、が、や、ほ、り、や、う、い、う、話、に、な、り、ま、う、て、い、う、し、て、も、こ、れ、を、造、る、は、り、は、め、で、や、る、ん、ど、と、こ、ろ、が、鉄、道、の、用、地、に、造、る、と、は、り、ま、う、と、は、か、は、り、鉄、道、の、用、地、を、惜、り、る、と、い、う、問、題、が、ござい、ます、す、が、こ、れ、も、は、り、は、り、は、あ、つ、た、こ、が、あ、り、め、け、な、す、か、り、鋪、装、の、問、題、と、か、ら、み、ま、う、と、福、生、駐、長、は、り、に、ハ、王、子、の、管、理、所、に、参、り、ま、う、と、意、何、を、伺、い、(今、後、努、力、に、た、い、と、い、い、と、か、ま、う、に、考、え、て、お、る、ゆ、り、で、ござい、ます、す、以、上、答、弁、と、い、た、い、ま、す、。

三番(中村国太郎君) 下、下、い、ま、の、理、事、者、か、り、の、答、弁、が、下、体、了、解、し、た、も、の、で、ござい、ます、す、が、二、三、三、要、望、申、し、あ、げ、ま、す、。



第三点の図書館の新設は、り、び、に、目、的、合、館、を、い、は、館、に、す、る、仲、が、す、が、こ、れ、は、福、生、会、館、一、あ、る、い、は、い、は、館、の、ど、ち、り、か、に、す、る、と、い、う、答、弁、が、ござい、ます、す、が、福、生、駐、長、は、横、田、基、地、と、い、う、^{佐、賀、市}佐、賀、市、の、軍、庫、基、地、と、か、か、え、て、い、る、福、生、駐、長、の、点、を、強、く、防、犯、に、要、求、し、て、こ、れ、を、防、衛、工、事、に、も、そ、い、く、や、う、強、く、是、非、と、も、強、く、努、力、し、て、い、た、だ、き、下、い、。

それ、か、り、第四点の中、支、隊、東、に、あ、る、い、は、西、口、の、鋪、装、が、あ、り、ま、う、が、東、に、は、個、人、の、用、地、と、国、鉄、用、地、と、の、境、界、が、は、つ、ま、り、し、ま、い、は、い、と、か、い、わ、れ、て、お、り、ま、う、す、が、こ、れ、は、長、年、仮、置、し、た、ま、す、が、東、に、し、て、も、西、に、し、て、も、甚、だ、迷、惑、に、す、る、の、で、あ、る、や、う、の、時、点、国、鉄、が、何、ん、ら、か、の、計、画、が、あ、つ、た、か、あ、る、い、は、そ、の、経、過、が、あ、つ、た、と、い、う、時、点、は、鋪、装、を、破、壊、し、ま、う、と、こ、れ、は、五、年、先、十、年、先、に、は、る、か、わ、り、ま、う、す、ん、が、是、非、と、も、こ、れ、は、国、鉄、側、に、話、を、し、て、ま、う、い、た、い、。子、に、財、買、地、で、十、年、先、二、十、年、先、に、は、る、か、わ、り、は、り、で、そ、の、子、子、に、し、て、お、く、と、い、う、こ、と、は、住、民、に、甚、だ、買、地、を、か、け、る、ゆ、り、な、す、か、り、こ、の、点、は、持、に、下、ん、と、か、個、人、に、も、了、解、を、得、て、こ、協、力、を、い、た、い、。

いただけるようお願いします。

第五点の公衆便所の件ですが、国鉄の方では敷地につけては造つてもよい、財算算でお建てにしようとしてもいいです、その上で維持管理は財算でやろうというのを聞いており、その中から投資的経費であり、是非ともこれを強く国鉄側に頼もうという舗装や便所につけて特に理事長に強く要望申しあげます。

。市長（石川常太郎君） 自席で失礼いたしますが、もちろん努力はいたしておりますが、東青森の例を取り、すると国鉄から用地を借りるのに二年半もかかたうで、もちろん一生懸命努力はいたしておりますけれども、そういう例があるというのを、今みおさ頼みたいと思います。

。議長（田村匡雄君） ニニで暫時休憩いたします。

午前九時四十五分休憩

午前九時四十七分再開

。議長（田村匡雄君） 休憩前に引き続き議事を開きます。

式事並止

。議長（田村匡雄君） つぎに林田議員よりお願いします。

（二十五番 森田秀雄君登壇）

二十五番（森田秀雄君） 基地排水の将来の計画について、また私の所信の一端を述べ、質問にしたいと思います。

第一期、第二期の工事が終ったように、基地排水の水がすでに下の川に流れることが決定的に決つたように思われます。聞くところによりますと、また予算書にもあり、すでに第三期工事の第三期工事はすでに下の川の尻の方からやろうとのお考えは、お聞きなされたかと思ひます。毎秒十トンという、現在玉川上水に流れてゐる水、これが流れると、お聞きなれており、すでに現在ですら台風や大雨の時にはすでに田んぼが陥没する状態です。おこに、基地排水が流れた場合には、今後下の川をどのようお規模をもち、どのようお計画で進められていくのか、この点をお聞きしたいと思ひます。

式事並止

聞くところによりますと、下の川の延長が五百米、現在の区間を



巾一米を下げ、一米を掘り下げるに聞ております。これでは下りて量水期の水が無事に多摩川に流れぬことをなさるのか、普段の大雨の時に多摩川から逆流するのを現在であり

ます。第三に現在の下りの川に約三町歩の水田が利用せらるゝをござい
ます。これがこれを一米掘り下げた場合には水田には水が入るこ
となく、その長い道中は本当に子供達の危険、中に落ち
込んでしまふと子供も怖いというふうなことも考へられ危険
防止ということも十分考へていたにすぎないと思ひます。

つぎにこの下りの川のはちば崖崩きで一人は風、大雨の際
には崖崩れ等私達消防に携つて来た際にも、三ヶ所、多い
時には五、六ヶ所という崖崩れが起きておるのをござい
ます。



この点も十分考慮に入れて下されたに思ひます。

現在の下りの川の排水路も本当にリヤカーも通れぬよう下道が
あるだけでございます。これを将来川を掃除するほどという
ことは思ひもおぼろしいにこそ、やはり並る以上は十分掃除をす
るというところがこれよりも大切でございぬかと思ひます。

下の川の区画整理というところを現在私たちがいろいろ話を聞ており
ますし、塵や悪臭に悩まされぬように、今後下の川が
の妨げにならぬよう二留意いたして下さうて計画されるよう
待てお願いする次第でございます。

(町長 石川常太郎君登壇)

町長(石川常太郎君) 二町歩申しあげます。お説のとおり排水

路の改修は下流より逆行いたして下さるのが常法でございます。
従いまして甚だ排水路の着工につきましては止められ防犯上
に好ましく是非とも下流よりという措置を再三いたしたわけ
でございます。一か一ばかり全額国庫補助というところでござ
います。町長自身にもそのおろすすべしども全額国庫補助で



ございます。既に施設したの意見というものは非常に強くも
あり。またある程度尊重しなければならぬというほかに
ほりきいて甚だ残念な所から現在のようは着工の順序に
ためがござります。本年もお説のとおり基地の門までやるこ
にござります。さて下の川でござります。下の川の改修は
昭和四十三年度、来年度に施行いたします予定にござります
しそのように施設下でも承知いたしております。従いまして
甚だとあの排水路をつなぐ前に完全に下の川の改修は終る予
定をいたしておるわけがござります。それより五百米を一米の
一米に高くするということ。これはまだ確定しただけでござります
ん。それだけのものがあれば流れるという事でござります。そ
うなればきりーにわけでござります。設計図もまだござ
りません。二箇所のとおり下下り下下りの川は近の田の開
発のお話もござります。それに見えりきりて急いでにやたり
きりて遺憾なきを期して参りたいと思っております。
ほととやうしくお願いいたします。



○三番 松本平九郎君 大体話の様子ばかりきりきり下
の川がすかりにつくまで完成してかりはじめた基地の扉を開く
という事でござります。
○町長 (石川常太郎君) やういう事です。下の川の改修が完全に
できたりうちは絶対に所々とは甚だの水はつはかせないとい
うに思っております。

(つゆかりきりきりと呼ぶ者あり)

○議長 (田村匡雄君) つぎに松本議員よりお願いいたします。

(三番 松本平九郎君 登壇)

○二番 (松本平九郎君) 一般質問を五点ほど行いたいと思ひます。
一、福生町の財政法の適用を受けたという様子は私の考之
れば一番の問題はし尿処理場であることには否かござります。
や、二、このし尿処理場は承りますと相当費用をかけ、また長
道までも行く視察し、その当時の理事長が議員の方々に一
三島位の説明を下さったやうでござります。そして二、三費
得てあのし尿処理場を造り、その造ったし尿処理場がまだ完全



つぎに財道の問題でございますが、福生財は非常に国道と
郁道の少なり財でございます。国道は下体二〇％、郁道が六、五％
あとぼすべく財道でございます。現在六米以上の道路で不舗
装の部分が一五米位、側溝をつけず、今簡易舗装だけ
が約一億円位かかるようでございます。これから審議いただき
ます。予算に財道関係、防犯道路、あるいは火好も入っており
ます。がやれりを含意いたします。約二、九、十、八、月ばかりに
なりでございます。本予算におきまして二、九、十、八、主として
通学路をやりたいと、ほか十月あるいは十一月の補正予算にお
きまして本年は通学路を主として舗装に力を入れ、予算の配分
もよけいにしようというふうに現在考えております。

ほか横断歩道、歩道橋等につき示しては是非必要であらうとい
う所を地主二人と交渉しておりす。本年は財道に限らず
学童保護の目的に於てこの個につき示しては特に努力をいたす
つもりでございます。二、三日中に交通安全協会等によりプリ
ントをいたして各戸にお配りすることによりておりす。が、
どこに電気をかけるのか、どこにガードレールを造るとか大体
の見通しをつけたいものをお配りする予定でございます。がこれは主
として警察がやることにしております。がこれにつき示しては予
算配分を十分にいたすつもりであるわけでございます。
それから排水路でございます。これはたしかに遅れず
て申し訳ない次第でございます。が、実は防犯上の計算等
でこの位まであるだろうという細かい計算をいたして予算の
配分を受けるわけでございます。が、意外なほど金庫事故あるのは
鉄道横断等予算の狂い等から事業が遅れたわけでございます。
して、所でもござるだけの接衝をいたすつもりでございます。け
れども、ほかほか思うように金庫はほかのたためです。

ほかのよう、牛久保周辺のオウには別に補償は申しあげません
が、たし、示しては是非必要であらうといふ。が、これは是非
つき示しては国の補償ということも無理でございます。け
れども、ほかほか願うように金庫はほかのたためです。

基地の爆音等につき示しては全国各地の基地周辺市町村の
共通の悩みでございます。基地のほのかもちろんです。が、い
ふ。が、これは是非必要であらうといふ。が、これは是非
つき示しては国の補償ということも無理でございます。け
れども、ほかほか願うように金庫はほかのたためです。

とばかり承知しておるのをごさいますけれども、では一体どの
ようになお何にもつていったらば一番住民のためにいいのかと
いうことが先決問題でございます。喧嘩をしてしまつて何人にも
やうでもらぬわけで、しかもなお飛行場があるというところでは
なお損なひがあります。どちらが得か、けつきよくソレバン勘定に
なすしなすすけれども、やういうふうなことでございます。一
誠に残念でございます。がそのつど基地あるいは防衛下に厳
重なる抗議を申し入れておるわけがございます。有首様等
もたいては役にたたないかも知れませんが、いふんと足を運ん
でやつととり付けてもらいあるいは子にテレビの受信料とかぬ
かすこととすけれどもいくぶんかはやうおるわけがございますけれども
特に最近朝方の爆音は非常にひどいし私もよくにやめておる
のです。そのつど誠に微力ですがございますけれども嚴重なる抗議
はいたしておるわけがございます。それから今後その発展の決
意というところでももちろん健全財政を維持しつつ町民の幸福
を願うというところでももちろん基本です。それからやういふにいたすわけ

がございますけれども、總ての方面にわたります。自治体と

申しすしても信用問題というものが一番大切なことでございます。

私を各々個にわたって総ての方面にわたります。信用を高め
るというところを第一義としております。町民の幸福を高めるた

めにやはり各々個にわたって信用を高めるというところが最も大切
あると思ひます。それから現実的の問題になります。これは

やはり私を行政ばいいと私は信じております。しかも

やはり相手のあることでございます。そのほかよく参ります。人

が、私をいたすす。とばかりにしろ人でもいふやうに相手はこ

うりから申し込んでも、あるいは相手から申し込みがある。それもい

うにやうというやうにいつでも喜んでいふにやられる体制に

したい。また相手はやだというやうに独自で、一人でもしんじ

てもよい。やうにしたい。もちろん両方を考えているわけが

ございます。そのでしんじやうを一人でもつていくというところでは

り福生町の主として地理的条件でございますけれども、福生町

は消費都市として発展すべく町であると思ひております。